

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 10 月 8 日 (2009.10.8)

【公開番号】特開 2008-52366 (P2008-52366A)

【公開日】平成 20 年 3 月 6 日 (2008.3.6)

【年通号数】公開・登録公報 2008-009

【出願番号】特願 2006-225747 (P2006-225747)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/042 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/042 F

G 0 6 F 3/041 3 3 0 E

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 8 月 24 日 (2009.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

座標入力領域において指示される指示具の指示位置を検出する座標入力装置であって、前記座標入力領域の周辺部に設けられ、投光手段によって投光された入射光を受光する複数のセンサ手段と、

前記座標入力領域に対する前記指示具による入力によって発生し、前記複数のセンサ手段それぞれから得られる光量分布の変化から得られる前記入射光の遮光範囲を検出する検出手段と、

前記検出手段で検出する前記複数のセンサ手段それぞれにおける遮光範囲の数と、前記指示具から得られるペンダウン信号の数に基づいて、前記遮光範囲に対応する座標値の算出を実行する実行手段と

を備えることを特徴とする座標入力装置。

【請求項 2】

前記座標入力領域の周辺部に設けられ、前記投光手段によって投光された入射光を再帰反射する反射手段を更に備え、

前記複数のセンサ手段それぞれは、第 1 及び第 2 受光部の 2 つの受光部を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の座標入力装置。

【請求項 3】

前記指示具は、前記ペンダウン信号を発生する信号発生部を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の座標入力装置。

【請求項 4】

前記実行手段は、

前記検出手段で検出する前記複数のセンサ手段それぞれにおける遮光範囲の数と、前記指示具から得られるペンダウン信号の数に基づいて、前記指示具からの入力の状態が入力過渡状態であるか否かを判定する判定手段を備え、

前記判定手段の判定の結果、前記入力過渡状態でない場合、前記遮光範囲に対応する座標値の算出を実行する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の座標入力装置。

## 【請求項 5】

前記判定手段は、前記複数のセンサ手段それぞれにおける前記遮光範囲の数が複数である場合、あるいは前記ペンダウン信号が前記複数のセンサ手段それぞれにおける前記遮光範囲の数の内の最大数以上である場合に、前記入力過渡状態でないと判定する

ことを特徴とする請求項 4 に記載の座標入力装置。

## 【請求項 6】

前記検出手段の検出の周期と前記ペンダウン信号の検出の周期に基づいて、複数回の検出を行い、その検出結果を比較することで、前記実行手段は、前記遮光範囲に対応する座標値の算出を実行するか否かの制御を行う

ことを特徴とする請求項 1 に記載の座標入力装置。

## 【請求項 7】

前記検出手段の検出タイミングと、前記ペンダウン信号を検出する検出タイミングの同期を取る同期手段を更に備える

ことを特徴とする請求項 1 に記載の座標入力装置。

## 【請求項 8】

座標入力領域の周辺部に設けられ、投光手段によって投光された入射光を受光する複数のセンサ手段を備え、前記座標入力領域において指示される指示具の指示位置を検出する座標入力装置の制御方法であって、

検出手段が、前記座標入力領域に対する前記指示具による入力によって発生し、前記複数のセンサ手段それぞれから得られる光量分布の変化から得られる前記入射光の遮光範囲を検出する検出工程と、

実行手段が、前記検出工程で検出する前記複数のセンサ手段それぞれにおける遮光範囲の数と、前記指示具から得られるペンダウン信号の数に基づいて、前記遮光範囲に対応する座標値の算出を実行する実行工程と

を備えることを特徴とする座標入力装置の制御方法。

## 【請求項 9】

座標入力領域の周辺部に設けられ、投光手段によって投光された入射光を受光する複数のセンサ手段を備え、前記座標入力領域において指示される指示具の指示位置を検出する座標入力装置の制御をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記座標入力領域に対する前記指示具による入力によって発生し、前記複数のセンサ手段それぞれから得られる光量分布の変化から得られる前記入射光の遮光範囲を検出する検出工程と、

前記検出工程で検出する前記複数のセンサ手段それぞれにおける遮光範囲の数と、前記指示具から得られるペンダウン信号の数に基づいて、前記遮光範囲に対応する座標値の算出を実行する実行工程と

をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。